令和６年３月　第２１回入善町議会定例会
代表・一般質問要旨（発言順）

令和６年３月５日（火）議運決定

〔質問日　3月13日（水）〕

■代表質問

発言順	質問議員（会派名）	質問事項	答弁者
1	**松澤　孝浩** （アクト）	**（1）新年度予算について** ① 令和 5 年度一般会計当初予算額は、役場庁舎整備事業などにより 13,670,200 千円の大型予算であった。令和 6 年度一般会計当初予算額は 10,680,800 千円とのことだが、主な事業は何か。 ② 昨年は入善町合併 70 周年を迎えたが、次なる 80 周年に向けて、笹島町長が目指す「まちづくり」は何か。	①②町長
		（2）地域防災について ① 1 月 1 日に発生した能登半島地震、突然の揺れに襲われ笹島町長は何を感じたか。 ② 町内で地震による被害はあったのか。 ③ 町職員を招集したと思うが参集状況はどうだったのか。 ④ 地域防災計画を基に災害本部を立ち上げたと思うが、問題は無かったか。対応に課題があるとしたら検証を行い、今後に活かせるのか。 ⑤ これまで各地区で何度も防災訓練を行ってきたが、今回の地震でその訓練が活かされたのか。各地域での避難所の開設や運営に課題がなかったのか。また、車での避難者により各地域で交通渋滞が発生したが防災マップの内容が町民に浸透していなかったのではないか。 ⑥ これらの課題をまとめて今後の防災訓練に取り組むべきと考えるが町長の見解は。	①～⑥町長
2	**佐藤　一仁** （自民清流会）	**（1）町の今後の防災対策について** ① 能登半島地震を経験して、町の防災計画の見直しも必要と考えるが、当局の考えを伺う。 ② 緊急的な避難所開設となったが、どのような課題や問題点があったと考えているのか。 ③ 津波警報による避難で、避難所がどこなのか、どの辺りまで避難すれば良さそうか判断がバラバラだったように見受けられた。町民に周知を図るべきと思うが、町の考えを伺う。また、沿岸部の地区用に、津波発生の恐れがある場合の緊急避難方法を示した屋内掲示用のパンフレットを作成して配布してはどうか。	①～④町長

発言順	質問議員 （会派名）	質問事項	答弁者
2	**佐藤　一仁** (自民清流会)	④　町内には津波避難ビルや避難タワーが無い。今後、指定や設置を考えてはいかがか。	
		（2）深層水取水施設の復旧について ①　国・県による財政支援を受けられるか受けられないかでは、復旧作業の費用負担に大きな差が生じるものと考えられる。財政支援を受けられる目途はついているか。 ②　取水管敷設等の復旧作業の内容や日程はどのようになるのか。 ③　財政支援を受けられない場合、莫大な費用の財源をどのように考えているのか。町財政への影響はどの程度になると試算しているか。 ④　深層水に関連する企業の今後の業務や計画に支障をきたすことはないか。各企業の理解は得られているのか。	①～④町長
3	**松田　俊弘** （日本共産党）	**（1）地震・津波対策について** ［地域防災計画の見直しについて］ ①　県防災会議地震対策部会の専門委員である竹内章氏は、魚津断層帯と糸魚川沖に伸びるF41断層が連動して起きる地震・津波を想定すべきとしている。そうした考えに立って地域防災計画を見直すべきだ。 ［津波浸水マップの改善について］ ②　町の津波浸水マップには最大津波高は10.2メートルとしているが、県の参考値の11.5メートルも表記すべきだ。また、浸水深を1ｃｍから30㎝、30㎝から50㎝も色分けすべきだ。 ③　適切な避難のためにどの地域の人がどこへ避難するか地域住民と相談し、土砂災害危険区域も分かるようにマップにも記載すべきだ。 ［短時間で到来する津波対策について］ ④　富山湾西側で発生する地震による津波は、入善には7分で到達するとされており、徒歩による避難では間に合わないこともある。水平避難だけではなく垂直避難できる施設の設定や整備を検討すべきだ。 ［備えの強化について］ ⑤　住宅の耐震化に県は100万円を限度に補助している。福井県は今回の震災を受け120万円から150万円に引き上げている。富山県も限度額を引き上げるよう求めるべきだ。 ⑥　火災に備え住宅密集地に耐震型の防火水槽を計画的に配備すべきだ。	①～④町長 ⑤住まい・まちづくり課長 ⑥消防署長

発言順	質問議員 （会派名）	質問事項	答弁者
3	**松田　俊弘** （日本共産党）	［大規模災害への対応について］ ⑦　災害対応に被災自治体が当たるのは困難だ。欧米諸国では大規模災害に備え政府に災害専門省庁を設置している。日本でも国主導で災害対策に当たる省庁の設置を求めるべきだ。	⑦総務課長
		（２）会計年度任用職員の処遇改善について ①　町の職員は正規職員245人に対し、臨時職である会計年度任用職員は266人だ。町は、新年度から会計年度任用職員にも勤勉手当を支給するとしているが、期末及び勤勉手当が支給される会計年度任用職員の割合はどれだけか。 ②　町は手当の支給対象者を週30時間以上勤務する会計年度任用職員としているが、政府は「週15.5時間以上勤務する者を支給対象とすることが基本」としている。町も週15.5時間以上に改善すべきだ。	①②総務課長

■一般質問

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
4	**井田　義孝** （分割方式）	**（１）　地震、津波等災害時の避難所のあり方について** １月１日の能登半島地震では町内全域に避難所が設置され、初めての取り組みでもあり混乱が生じた。以下の課題に対する町の取り組みを問う。 ①　災害時の避難所の指定について、津波など水害時は平屋ではなく二階以上の建物となっていたにもかかわらず、平屋建築が避難所となった。今後はどうするのか。 ②　公共施設に住民が避難したが、鍵が開いておらず、職員が一度役場に集まり、鍵を持って各施設へ開錠に向かった。速やかな開錠のためにどのような手立てをとるのか。 ③　飯野地区では、住民の自主的避難から町による正式な避難所設置までにタイムラグがあった。これにより、水や食料などの配布も遅れが生じた。災害時は速やかに避難所を設置すべきではないか。 ④　消防防災センターにまとめてある資機材を各避難所へ運ぶのではなく、地区ごとに備蓄倉庫の整備と緊急物資の備蓄をしておくべきではないか。今回はなぜ水とクラッカーのみの配布で、段ボールベットやアルファ米などの配布がされなかったのか。	①～⑥総務課長

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
4	**井田　義孝** （分割方式）	⑤　停電や断水、下水管の破断などインフラが破壊された際の避難所運営についてどのように対策を考えているか。 ⑥　長期間にわたる避難所生活では、生活環境の悪化による災害関連死が懸念される。今回の避難所は体育館にゴザの雑魚寝であった。避難所の環境改善にどう取り組むのか。女性や病人、障がいを持つ人など立場の弱い人たちへの配慮はどう考えているのか。	
		（２）杉沢の沢スギの整備に関して 国の特別天然記念物、杉沢の沢スギは、４期に渡る整備の後、養生期間に入って３年になるが、この３年間整備を行っておらず雑木が繁茂している。 ①　地元住民と専門家による整備検討委員会を再組織し、科学的知見に基づく継続的整備を行うべきではないか。	①教育委員会事務局長
5	**岡島　功** （分割方式）	**（１）能登半島地震について** ①　町内の住宅被災者等に対する支援金・見舞金の状況はどうか。 ②　防災マップの見直しは考えているのか。	①保険福祉課長 ②総務課長
		（２）海洋深層水について ①　取水管の被害状況はどうか。 ②　深層水利用企業の被害状況はどうか。 ③　取水管の早期復旧に向けた取り組み状況はどうか。 また、深層水利用企業に対する支援等は考えているか。	①～③町長
		（３）土地改良事業と道路対策について ①　青島地区県営土地改良事業において、地区から水路改修にあわせて町道の一部拡幅改良の要望が出ていると思うが、対応状況はどうか。	①建設課長
6	**中瀬　淳哉** （一括方式）	**（１）入善町の財政について** ①　今後の町の歳入の見通しについて、どのように考えているのか。また、どのくらい基金を持っておく必要があるのか。 ②　以前の議会答弁で、令和５年度、令和６年度が地方債残高のピークになると答弁していたが、その認識に変わりはないか。 また、投資と地方債残高のバランスをどのように考えておられるのか、地方債残高がどれくらいの推移を保っていくのが良いのか。 ③　下水道使用料の値上げに対し、町民に理解を求めていく時期にきていると思うが、町の考えは。	①②町長 ③住まい・まちづくり課長

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
６	**中瀬　淳哉** （一括方式）	**（２）新庁舎開庁に向けて** ①　新庁舎建設に付帯する工事について、そのスケジュールはどうなっているのか。 ②　役場現庁舎の解体について、どのように考えているのか。 ③　新庁舎において町民の利便性がどのように向上するのか。 ④　役場の職場環境についてどう考えておられるのか、人材が流出しないようにするにはどうすればよいのか、町の考えはどうか。	①②町長 ③④総務課長
		（３）入善町安心移住プロジェクト ①　様々な移住施策を行っているが、子育て支援と移住を結び付け、特化した施策をするべきではないか。	①住まい・まちづくり課長

〔質問日　3月15日（金）〕

■一般質問

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
7	**野島　浩** （一括方式）	**（1）能登半島地震から今後,本町の地域防災計画において学べることはないか。 現段階においての検証と課題について。** ① 元日という一年を通しても特別な日に発生した大地震。地震発災直後の対策本部立ち上げなど初動体制については、町当局の対応はスピード感があり、大いに評価するものであるが、今回、初めて津波警報という大きな恐怖感があった。積雪がなかったことは幸いであったが、避難所開設、避難道路、経路、誘導、道路安全管理、また、各地区での高齢者、要援護者の安否確認他、情報共有や、警察、消防機関、医療、福祉などの機関と従前のシミュレーションに沿った連携ができたのか、検証中ではあると思うが、現段階での見解を伺う。 ② 各地区から生の声、要望、課題も浮かび上がっていると思うが、どのように把握できているか。 ③ 自主防災組織や区長会、住民との情報連携は機能していたか。 ④ 特に、警報が出た海岸地区町民に対して、今後避難に関しての情報提供や協議の機会を設ける必要があるのではないか。 ⑤ 今回、防災士の重要性を特に感じた。各地区、団体との連携を密にするためにも協議会としての勉強会など地区防災の要としての活発な活動を要請していくべきだ。 ⑥ 幸いにも本町では、火災が発生しなかったが、地震と火災は一体のものと捉えるべきだ。特に、集落が孤立した場合を想定し密集地火災対応訓練を強化すべきだ。 ⑦ 入善町防災会議の位置づけが非常に重要であることを改めて認識した。形骸化した会議、組織にならないように女性委員を増やし、作業部会を組織して定期的な住民ぐるみの活動はできないか。 ⑧ 大震災を経験して、町民の様々な生の声があると思う。当局で機会を見てアンケートを予定しているか否か。 ⑨ 広く生の意見を開くためにも町づくり懇談会での「ご意見カード」を利用し、新年度から1カ月から数カ月のスパンで全戸配布にて集約、あるいは、目安箱的な形式で不安や心配事、意見などを募って懇談会にも生かしたらどうか。	①～⑤総務課長 ⑥消防署長 ⑦～⑩総務課長

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
7	**野島　浩** （一括方式）	⑩　災害発生時の防災行政無線を緊急時は自動音声ではなく、生の声で呼びかけてはどうか。 ⑪　能登地方では、未だ10,000人以上の方々が避難所生活をしている。少なくとも本町において、空き家バンクに登録されている物件を登録時に所有者の了解を得ることを条件として、災害時の緊急避難所に提供することはできないか。 ⑫　今回の大震災を教訓として、入善町の地域防災計画の修正、見直しの必要性はないか当局の見解を伺う。	⑪住まい・まちづくり課長 ⑫総務課長
		（２）中山間地域直接支払事業について。 ①　現在、舟見地区で取り組んでいる中山間地域直接支払交付金事業についての現況と今後の活動状況を問う。	①がんばる農政課長
8	**五十里　国明** （分割方式）	**（１）今回の地震後の本町の現況を見た問題点** ①　副町長の自宅は、庁舎、小学校、８号線と近く、地震後の現況をどの様に見られたか。 ②　建設課長は、県道入善宇奈月線、役場前８号線交差点の地震後の人の移動、車輌の通行安全状況をどの様に確認されたか。 ③　建設課長は令和３年９月議会で、市街地からの新庁舎への主要アクセス道路として入善高校西側の県道入善宇奈月線があり、現在、期成同盟会を作っていただいて歩道の設置などを県に要望し、上田地内で県道からアクセス道路を新設すると答弁されたが、今回の地震でも新庁舎へのアクセス道路は令和３年９月の答弁と同じか。 ④　今、８号線の横断歩道は28mとなっていて、地震後の横断に渋滞が発生した現実を直視し、町民の心配が露呈する現状を真摯に受け止め、交通の安全・安心対策を行政に反映すべきと思うが、どうか。 ⑤　町長は今回の地震災害で、防災に強い拠点基地、町民が安全に集える拠点とする新庁舎に移動することの安全性を十分に確保できたと確信されているか。 ⑥　令和３年９月議会で町長に庁舎前交差点のアンダーパス化の要望活動をすべきとお願いしたところ、国、県には別にお金のかかる話ではございませんが、しばらくの間、検討させて頂きたいと答弁されたが、今回の地震の様な緊急事態の車両の通行状態を体験すれば、国道８号の横断見直しを考え町民の安全・安心のため、国、県にアンダーパス化の重点要望活動をすべきと思うが、どうか。	①副町長 ②～④建設課長 ⑤⑥町長

発言順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
８	**五十里　国明** （分割方式）	**（２）下飯野地区企業用地造成工事について** ①　特定建設業の定義とは、説明願いたい。 昨年４月に公表された発注計画では、下飯野地内企業団地造成その１工事、その２工事の２工区となっていたが、昨年 10 月３日の入札に、２工事を合わせて１工区にした理由は。 ②　その１工事、その２工事とも工期の繰越がなかったが、なぜ繰越発注にする必要があるのか。 ③　今、庁舎内で技術職員は何名在職か。また、技術職員は足りているのか。また、職員不足から１工区のみでの発注になったのでは。	①～③副町長